

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1404
平成18年度部名	環境保全部		課名	津久井環境課	課長名	柳川 宝
平成19年度部名	環境保全部		課名	津久井環境課	課長名	江成 博
事務事業名	緑地等維持管理費					
予算上の事務事業名	緑地等維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	22310		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます					
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造					
施策名	第1施策 みどりの保全と拠点づくりの推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 都市緑地法						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	さがみはら・みどりの基本計画			良好な生活環境の形成を図るため、市域の緑地保全と緑化推進に係る施策等について、総合的に計画するもの。平成9年3月策定		
計画年次	平成9年	年度～	平成27年			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
市有緑地(A=62,781㎡)について、下草刈り、枯損木処理等の林床整備や樹林管理等を実施する。					市有緑地	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・高木剪定15本実施 ・除草面積=24,424㎡、年2回実施 						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費			2,586	3,262	3,262	
一般財源			2,586	3,262	3,262	
受益者負担金			0	0	0	
その他の特定財源			0	0	0	
人件費の合計			403	403	403	
事業コスト合計			2,989	3,665	3,665	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	緑地等管理費			対象名称 と単位	緑地面積(㎡)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			2,586	3,262	3,262	
対 象 数			62,781	62,781	62,781	
単位あたり経費(円)			41	52	52	
前 年 度 比			#DIV/0!	1.26	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	委託面積	指標式と指標の説明	委託面積 / 前年度委託面積		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績			1.00		
目標			1.00	1.05	1.05
目標達成度 (%)			100.0	0.0	0.0
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	緑地管理率 (%)	指標式と指標の説明	事業実施面積 / 対象面積 × 100		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績			38.9		
目標			38.9	40.0	40.0
目標達成度 (%)			100.0	0.0	0.0
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
有	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域ボランティア団体と協働し管理内容の充実を図りたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
水源環境保全・再生市町村特別交付金の導入による事業費の拡充			県費補助の確保		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			